

重点施策7 市民総参加のスポーツと健康教育の推進

【施策方針】

生涯にわたって、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、スポーツ・レクリエーション活動の充実を図り、市民が健康で明るく生活できるよう努める。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 生涯スポーツの振興
- ② スポーツ活動体制の充実・強化、学校体育との連携
- ③ スポーツ・レクリエーション施設の整備、野外活動の推進

(2) 施策・事業の実施状況

① 生涯スポーツの振興

令和5年5月より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に変更となったことを受け、これまで中止となっていたスポーツイベントが少しずつ平常開催できるようになってきた。

これを契機に、今後はより一層スポーツに親しむ市民の拡大と継続したスポーツの推進を図り、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が健康で明るく生活できるよう努めていきたい。

- ・ 市スポーツ協会への助成を通じて、優秀な成績を収めた方の顕彰や、スポーツ大会の開催、全国大会などへの出場者に助成を行うなど、スポーツ活動の振興を図った。
- ・ スポーツ少年団への助成を通じて、体験発表大会、サッカー大会を開催した。また、大会の参加や開催を促進し、競技力の向上に努めた。
- ・ 公認スポーツ指導員等の資格取得に対して助成を行うなど、指導者の育成及び確保に努めた。
- ・ 社会体育施設の保守点検を適宜行い、不良箇所の修理を行うことにより、安全で快適なスポーツ、レクリエーション活動の環境整備に努めた。

② スポーツ活動体制の充実・強化、学校体育との連携

市民のスポーツ活動の場として、学校体育施設を開放し、広くスポーツの健全な普及促進と健康増進を図るとともに、学校体育との協力体制の推進に努めた。

- ・ 学校施設の体育館及びグラウンドの開放を行い、市民へのスポーツ、レクリエーション活動の場を提供した。

③ スポーツ・レクリエーション施設の整備、野外活動の促進

児童生徒の自然とのふれあいの中での豊かな人間性を養う野外活動の展開を図った。

- ・ マウンテンバイクの貸出し事業を実施するとともに、定期的なマウンテンバイク教室

の実施を計画し、競技の普及促進に努めた。

- ・ 市民スポーツセンターについて、ボイラー更新工事、外壁改修工事、監視カメラ更新工事、駐車場機器更新工事、プール循環配管電動弁更新工事を行った。

【事務事業点検評価委員意見】

- 生涯スポーツの振興については、新型コロナウイルス感染症の影響下で中止になっていたスポーツイベントが平常開催できるようになって良かった。これにより、諸般の目的に沿った活動ができるようになってきた。市スポーツ協会やスポーツ少年団への助成が、更なる競技力の向上につながるよう今後とも支援をお願いしたい。また、社会体育施設の保守点検は大切である。定期的でより細かな点検・修理を継続的にお願いしたい。
- スポーツ活動体制の充実・強化、学校体育との連携については、関係団体等との協力体制の構築が重要と思われる。学校施設の体育館やグラウンドの開放とともに、施設の使用及び管理の在り方等についても共通理解を図るようお願いしたい。
- スポーツ・レクリエーション施設の整備、野外活動の促進については、マウンテンバイクの貸出し事業が挙げられている。定期的な教室等の実施がMTBへの興味・関心や若年層の裾野の広がりにつながるよう努めていただきたい。

【自己評価】

- スポーツ活動で優秀な成績を収めた方に対しては、懸垂幕の設置や市スポーツ協会を通じての助成・表彰等を行い、生涯スポーツのさらなる振興を図っている。社会体育施設の保守点検・修繕に関しては、限られた予算の中で優先順位をつけ、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、迅速な対応を心がけたい。
- スポーツ活動体制の充実・強化についてはスポーツ協会や各種競技団体と、学校体育との連携や学校施設の使用等については、学校や学校教育課との情報交換を密にし、引き続き良好な関係を築いていきたい。
- レンタルマウンテンバイクについては、経年劣化による故障が多く、乗りたいバイクに乗れないといった声が聞かれるようになった。今後は点検・修繕の頻度を増やし、利用者の要望に応えたい。また、マウンテンバイク教室に積極的に参加してもらえよう、学校と連携し、児童生徒に向けた効果的な周知を行いたい。
- マウンテンバイク大会は参加国数などの開催基準の関係から、2024大会はグレードが下がってしまった。しかし、国内外の選手に注目されるテクニカルなコースであることに変わりはなく、国際大会であることを様々な媒体を駆使して広く宣伝し、再び最高グレードでのレースを実施できるようにしたい。